令和6年8月通常会議
施設常任委員会報告事項

第4次大津市緑の基本計画中間見直しに係る市民意識調査の結果について

令和6年9月17日
都市計画部　公園緑地課

市民意識調査の概要

第4次大津市緑の基本計画の中間見直しに向け、市民の緑に対する意識の変化や公園の利用状況を把握するため、2023年度（令和5年度）に2種類の市民意識調査を実施

調査種別	調査概要
一般市民アンケート	**対象：**市内在住の18歳以上の男女3,000人 **方法：**郵送、web回答 **期間：**2023年12月2日（土）～1月12日（金） **回答数：**1,193（回答率39.8%）
公園利用者アンケート	**対象：**市内7か所の公園利用者 （和邇公園、伊香立公園、雄琴臨水公園、皇子が丘公園、茶臼山公園、一里山公園、南郷公園） **方法：**対面、web回答（チラシ配布） **期間：**2023年11月18日（土）・11月19日（日） **回答数：**212

大津市緑の基本計画に関する
市民意識調査のお願い

一緑の基本計画とは―

皆さまのご協力をお願いします

問9　現在の公園についてどのように思いますか。
（あなたのお考えに最も近いものを①～⑤の中から1つ選んでください）

問10　この公園にどのような施設があれば魅力が上がると思いますか。
（あてはまるもの3つまで○印）

市民意識調査の概要

質問内容（一般市民アンケート）			
問1	【属性に関する質問】 （性別・年齢・居住年数・地域など）	問8	公園・緑地は、どれくらいの頻度で利用されますか。
問2	大津市にふさわしい「緑」、特に大事にすべき緑は何だと思いますか。	問9	公園・緑地をどのような目的で利用しますか。
問3	お住まいの周辺の緑の量は10年前と比べて増えたと思いますか。	問10	これからの公園は、何を充実するべきだと思いますか。
問4	お住まいの周辺の緑に満足していますか。	問11	お住まいの周辺の、公園以外の「緑」の充実について、今後どのような取り組みが望ましいと思いますか。
問5	よく利用する公園・緑地の名前をご記入ください。	問12	① 公園・緑地で行う緑のまちづくり活動についてあなたが取り組んでいること、また今後取り組んでみたいことなどを教えてください。 ② 実施している緑のまちづくり活動は、どのような取り組みですか。またはどのような取り組みであれば参加しやすいですか。
問6	公園・緑地に行くまでの主な交通手段を選択してください。	問13	緑のまちづくり活動に取り組む上で、市に特に支援してほしいことはなんですか。
問7	公園・緑地の平均的な滞在時間を教えてください。	問14	その他、緑のまちづくりや、市民協働に関するご意見、ご要望などがあれば、ご自由にご記入ください。（自由記述）

市民意識調査の概要

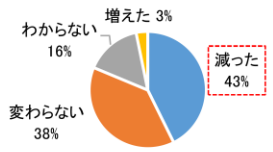
質問内容（公園利用者アンケート）			
問1	年齢を教えてください。	問7	公園を利用する目的を教えてください。
問2	あなたのお住まいの地域（小学校区）を教えてください。	問8	今日この公園を選ばれた理由について教えてください。
問3	本日はどなたといらっしゃいましたか。	問9	現在の公園についてどのように思いますか。
問4	ここにくるまでの主な交通手段を教えてください。	問10	この公園にどのような施設があれば魅力が上がると思いますか。
問5	公園の平均的な滞在時間を教えてください。	問11	その他、この公園に関するご意見、ご要望などがあれば、教えてください。（自由記述）
問6	公園の利用頻度を教えてください。		

調査結果の概要（一般市民アンケート）

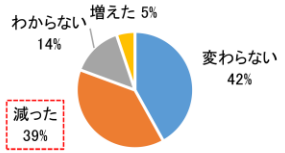
大津市の緑の質の評価　[現計画策定時（2017年度）との比較]

お住まいの周辺の緑の量は１０年前と比べて増えたと思いますか。

2023 年度

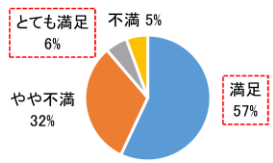


2017 年度

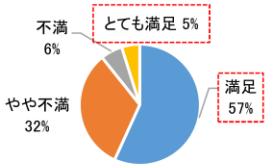


お住まいの周辺の緑に満足していますか。

2023 年度

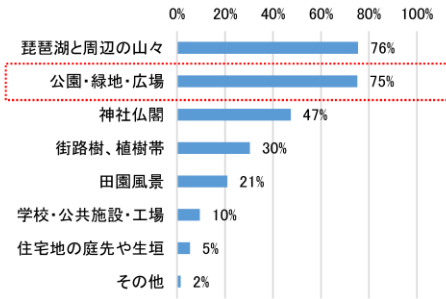


2017 年度

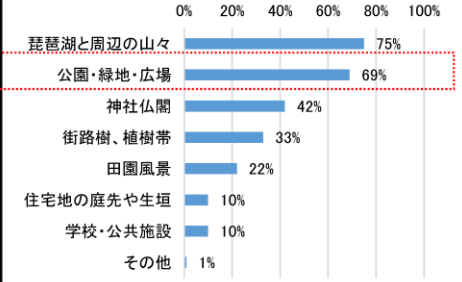


大津市にふさわしい「緑」、特に大事にすべき緑

2023 年度



2017 年度



「減った」と回答された割合が4%上昇

「満足」の割合は変わらないが、「とても満足」の割合は1%上昇

「公園・緑地・広場」の割合が6%上昇し、「琵琶湖と周辺の山々」との差が縮小

調査結果の概要（一般市民アンケート）

公園・緑地の利用状況　[現計画策定時（2017年度）との比較]

2023 年度

※有効回答者数 916 のうち、１０以上の回答があった公園緑地

公園名	回答数	地域
大津湖岸なぎさ公園	157	中部・中南部
県営びわこ文化公園	127	東部
膳所城跡公園	55	中南部
皇子が丘公園	50	中部
皇子山総合運動公園	50	中部
近江神宮外苑公園 ※ブランチ大津京含む	36	中部
和邇公園	30	北部
茶臼山公園	28	中南部
南郷公園	27	南部
県営湖岸緑地（堅田・雄琴地区）※衣川緑地公園含む	27	西北部
唐橋公園	24	東部
県営春日山公園	24	西北部
矢橋帰帆島公園	24	草津市
長等公園	24	中部
瀬田川沿い ※瀬田川ぐるりさんぽ道含む	23	南部・東部
一里山公園	20	東部
仰木西公園	18	西北部
仰木東公園	18	西北部
柳が崎湖畔公園	18	中部
県営湖岸緑地（唐崎苑）	17	中北部
青山中央公園	13	東部
清林パーク	12	北部
瀬田公園	12	東部
県営湖岸緑地（坂本城址公園）	11	中北部
このみ公園	11	西北部

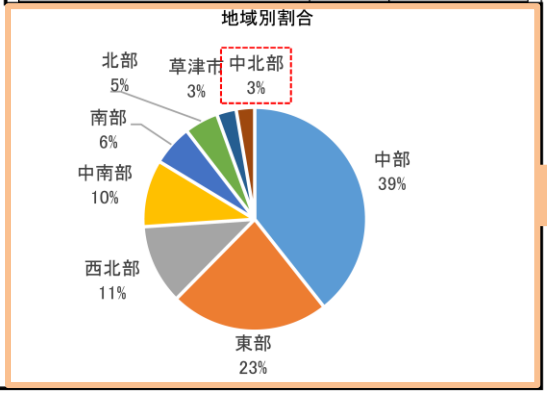
2017 年度以降に開設した公園
今回新たに回答された公園

2017 年度

※有効回答者数 529 のうち、１０以上の回答があった公園緑地

公園名	回答数	地域
大津湖岸なぎさ公園	116	中・中南部
膳所城跡公園	69	中南部
皇子山総合運動公園	53	中部
県営びわこ文化公園	43	東部
皇子が丘公園	42	中部
唐橋公園	34	東部
南郷公園	31	南部
和邇公園	29	北部
茶臼山公園	29	中南部
矢橋帰帆島公園	23	草津市
県営春日山公園	21	西北部
柳が崎湖畔公園	21	中部
仰木東公園	15	西北部
瀬田公園	14	東部
一里山公園	13	東部
瀬田川緑地	12	中南・南部
御呂戸川緑地	10	西北部

地域別割合



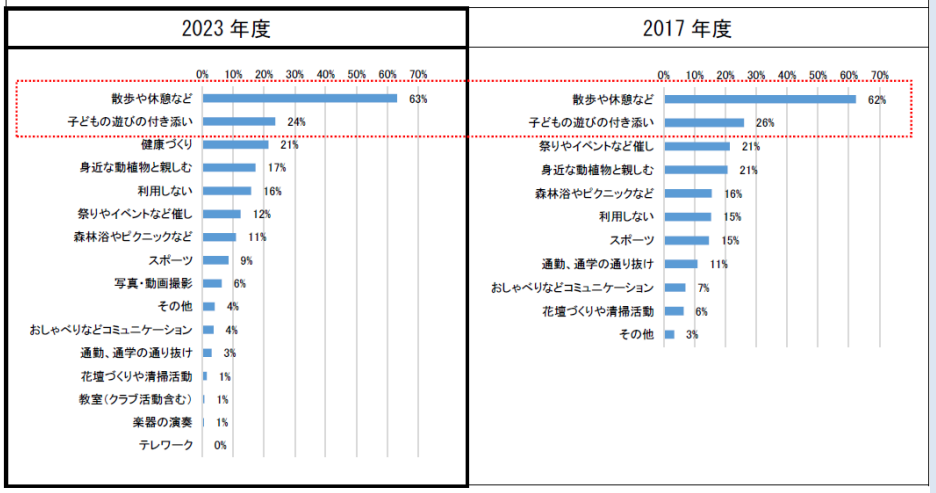
- よく利用する公園・緑地の1位は前回同様「大津湖岸なぎさ公園」
- 前回調査以降に供用開始した「近江神宮外苑公園」が6位
- 琵琶湖や瀬田川の水辺を散策できる緑地として「県営湖岸緑地」や「瀬田川沿い」も20以上の回答

中部と東部の公園で6割を占めている一方、中北部は市内で最も低く約3%の割合

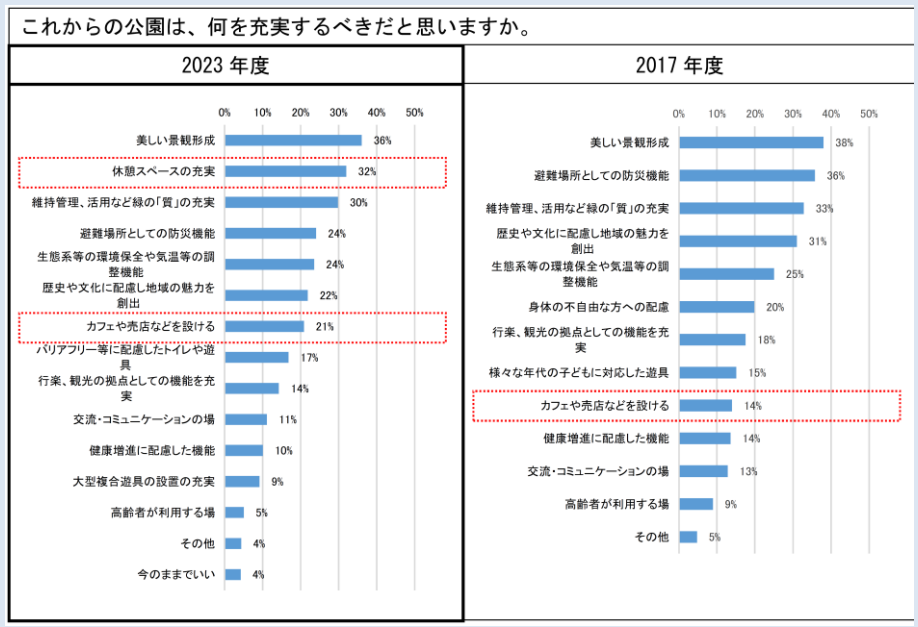
調査結果の概要（一般市民アンケート）

公園・緑地の今後のあり方　[現計画策定時（2017年度）との比較]

公園・緑地をどのような目的で利用しますか。



これからの公園は、何を充実するべきだと思いますか。



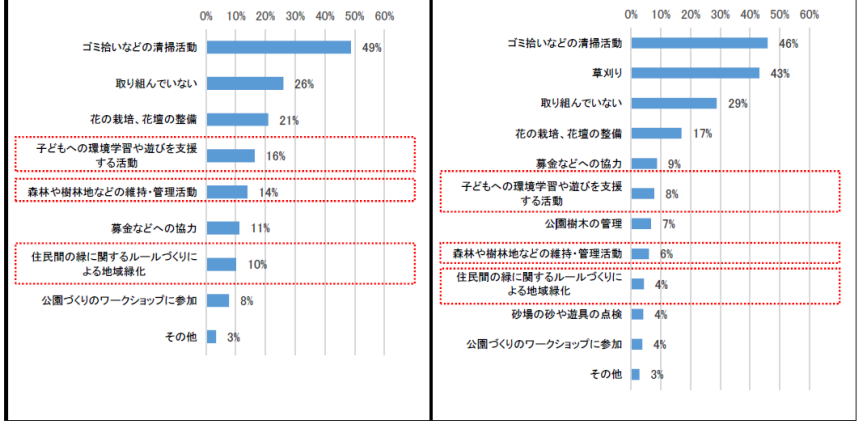
- 前回調査時と1位・2位は同じで、「散歩や休憩など」が63%、「子供の遊びの付き添い」が24%
- 3位は今回新たに設けた「健康づくり」

- 1位は前回調査時と同じ「美しい景観形成」となり、2位は新項目の「休憩スペースの充実」、3位は「維持管理、活用など緑の「質」の充実」
- 「カフェや売店などを設ける」の割合が上昇

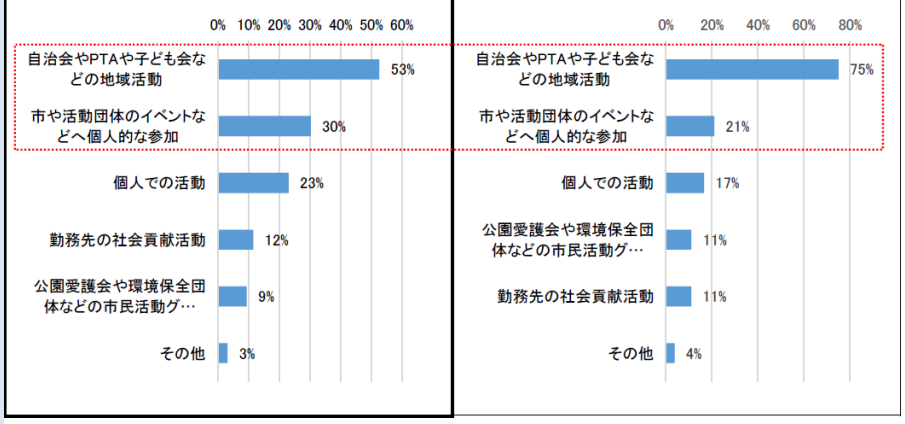
調査結果の概要(一般市民アンケート)

緑のまちづくりについて　[現計画策定時(2017年度)との比較]

公園・緑地で行う緑のまちづくり活動についてあなたが取り組んでいること、取り組んでみたいこと。



実施している緑のまちづくり活動は、どのような取組ですか。またはどのような取組であれば参加しやすいですか。※前問の「取り組んでいない」「その他」以外に○を付けた方



「子どもへの環境学習や遊びを支援する活動」、「森林や樹林地などの維持・管理活動」、「住民間の緑に関するルールづくりによる地域緑化」に取り組んでいる割合が約2倍に上昇

1位「自治会やPTAや子ども会などの地域活動」の割合が75%から53%に減少し、2位「市や活動団体のイベントなどへ個人的な参加」が21%から30%へと増加

調査結果の概要(一般市民アンケート)

年齢別比較

■2023年度調査結果まとめ(年齢別)

		18～29歳	30～59歳	60歳以上	全体
大津市にふさわしい緑		琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々	公園・緑地	琵琶湖と周辺の山々
10年前と比べ緑が減った		42%	44%	41%	43%
大津市の緑に満足		73%	64%	60%	63%
公園の利用状況利用割合		79%	84%	85%	84%
これからの公園は何を充実すべきか	1位	休憩スペースの充実	美しい景観	美しい景観	美しい景観
	2位	カフェ・売店設置	休憩スペースの充実 維持管理活用	休憩スペースの充実	休憩スペースの充実
	3位	美しい景観	—	維持管理活用	維持管理活用
緑のまちづくりに取り組みたい		66%	69%	81%	74%

青字:5%以上の増　　変化項目

■2017年度調査結果まとめ(年齢別)

		18～29歳	30～59歳	60歳以上	全体
大津市にふさわしい緑		—	—	—	琵琶湖と周辺の山々
10年前と比べ緑が減った		40%	42%	36%	39%
大津市の緑に満足		58%	61%	59%	61%
公園の利用状況利用割合		80%	84%	87%	85%
これからの公園は何を充実すべきか	1位	美しい景観	美しい景観	美しい景観 防災機能 維持管理活用	美しい景観
	2位	行楽・観光拠点 カフェ・売店設置	防災機能	—	防災機能
	3位	—	維持管理活用	—	維持管理活用
緑のまちづくりに取り組みたい		43%	70%	78%	71%

調査結果の概要（一般市民アンケート）

地域別比較

■2023年度調査結果まとめ（地域別）

		北部	西北部	中北部	中部	中南部	南部	東部	全体
大津市にふさわしい緑		琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々 公園・緑地	琵琶湖と周辺の山々	公園・緑地	公園・緑地	公園・緑地	琵琶湖と周辺の山々
10年前と比べ緑が減った		34%	49%	59%	30%	38%	47%	43%	43%
大津市の緑に満足		67%	63%	53%	64%	68%	66%	63%	63%
公園の利用状況 利用する割合		87%	81%	78%	86%	90%	84%	85%	84%
これからの公園は何を充実すべきか	1位	休憩スペースの充実	美しい景観	休憩スペースの充実	美しい景観	休憩スペースの充実	休憩スペースの充実	美しい景観	美しい景観
	2位	維持管理活用	休憩スペースの充実 防災機能	美しい景観	維持管理活用	美しい景観	美しい景観	休憩スペースの充実	休憩スペースの充実
	3位	美しい景観	―	維持管理活用	休憩スペースの充実	維持管理活用	維持管理活用	維持管理活用	維持管理活用
緑のまちづくりに取り組みたい		89%	75%	72%	70%	74%	76%	75%	74%

青字：5%以上の増　赤文字：5%以上の減　　変化項目

■2017年度調査結果まとめ（地域別）

		北部	西北部	中北部	中部	中南部	南部	東部	全体
大津市にふさわしい緑		琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々	琵琶湖と周辺の山々	公園・緑地	琵琶湖と周辺の山々	公園・緑地	琵琶湖と周辺の山々
10年前と比べ緑が減った		33%	40%	46%	29%	42%	39%	43%	39%
大津市の緑に満足		70%	63%	59%	61%	57%	70%	55%	61%
公園の利用状況 利用割合		86%	88%	83%	87%	85%	86%	80%	85%
これからの公園は何を充実すべきか	1位	維持管理活用	防災機能	歴史文化 防災機能	美しい景観	美しい景観	防災機能	美しい景観	美しい景観
	2位	防災機能	美しい景観	―	維持管理活用	防災機能	美しい景観	維持管理活用	防災機能
	3位	美しい景観	維持管理活用	美しい景観	歴史文化	歴史文化	歴史文化	防災機能	維持管理活用
緑のまちづくりに取り組みたい		73%	83%	68%	65%	68%	69%	77%	71%

調査結果の概要（公園利用者アンケート）

公園利用者アンケート結果の概要

- 利用者は周辺地域からが多い
- 主な交通手段は自家用車が最も多い
- 滞在時間は1～2時間が最も多い
- 利用頻度は週に2～3回か月に数回が多い
- 利用目的は1位が「散歩や休憩」、ついで「子どものつきそい」
- 利用理由は「近いから」が最も多い

		和邇	伊香立	雄琴臨水	皇子が丘	茶臼山	南郷	一里山	全体
年齢	1位	40～49 歳	40～49 歳	40～49 歳	30～39 歳	60～69 歳	70～79 歳	70～79 歳	40～49 歳
	2位	60～69 歳	60～69 歳	30～39 歳 50～59 歳 —	50～59 歳	50～59 歳	17 歳以下 40～49 歳 80 歳以上	60～69 歳	60～69 歳
	3位	30～39 歳 70～79 歳	30～39 歳 50～59 歳	—	70～79 歳	17 歳以下 70～79 歳	—	30～39 歳	30～39 歳
地域（小学校区）	1位	和邇	伊香立	市外	志賀	膳所	南郷	瀬田東	—
	2位	小野 堅田	堅田	雄琴	長等	平野	市外	瀬田	—
	3位	—	市外	坂本・下阪本・仰木の里・堅田	市外	富士見	石山	瀬田北・南郷・田上	—
誰と来園したか		家族（小含む）	家族（小含む）	一人	家族（小含む）	一人	一人	一人	家族（小含む）
主な交通手段		自家用車	自家用車	自家用車	自家用車	徒歩	自家用車	自家用車	自家用車
滞在時間		1～2h	1～2h	30 分～1h	30 分～1h 1～2h	1～2h	10 分未満	1～2h	1～2h
利用頻度		月に数回	年に数回	ほとんど利用しない	月に数回	週に 2～3 回	週に 2～3 回	週に 2～3 回	月に数回
目的	1位	子供のつきそい	イベント	釣り	散歩や休憩	散歩や休憩	散歩や休憩	散歩や休憩 子供のつきそい	散歩や休憩
	2位	散歩や休憩	スポーツ	散歩や休憩	子供のつきそい	健康づくり	健康づくり	—	子供のつきそい
	3位	健康づくり	子供のつきそい	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツ	花壇づくり	スポーツ
理由	1位	近いから	イベント開催	近いから	自然が豊か	近いから	近いから	近いから	近いから
	2位	自然が豊か	近いから	釣り旅行	スポーツができる 近いから	休憩場所がある	駐車場がある	花壇・花苗購入	自然が豊か
	3位	遊具がある	スポーツができる	自然が豊か 駐車場がある	—	スポーツができる	スポーツができる	自然が豊か きれいに管理	スポーツができる

調査結果の概要（公園利用者アンケート）

公園利用者アンケート結果の総括

			和邇	伊香立	雄琴臨水	皇子が丘	茶臼山	南郷	一里山	全体
公園の満足度※	公園の使いやすさ		94%	83%	61%	63%	88%	85%	81%	80%
	施設の充実度		91%	60%	46%	54%	64%	42%	62%	61%
	自然の豊かさ・景観		97%	97%	89%	95%	97%	100%	92%	95%
	全体的な満足度		91%	90%	61%	74%	83%	96%	81%	82%
どのような施設があれば魅力が上がるか		1位	今のままでいい	カフェ・レストラン 今のままでいい	今のままでいい	カフェ・レストラン	今のままでいい	カフェ・レストラン	今のままでいい	カフェ・レストラン 今のままでいい
		2位	カフェ・レストラン	—	カフェ・レストラン 多目的広場	大型複合遊具	カフェ・レストラン	キッチンカー	大型複合遊具	—
		3位	ドッグラン	大型複合遊具	—	キッチンカー	ジョキングコース ドッグラン	大型複合遊具	カフェ・レストラン キッチンカー	大型複合遊具

※公園の満足度は各項目の回答のうち、「満足」「やや満足」の合計が全体の何%であったかを示している。

- 全体的な満足度は和邇公園、伊香立公園、南郷公園で９割を超えた一方、雄琴臨水公園や皇子が丘公園では低い傾向
- 魅力が上がる施設としては、「カフェ・レストラン」や「大型複合遊具」が多かった一方、今のままでいいという意見も多い

調査結果の考察

住まい周辺の緑について

- 前回調査と比較すると、住まい周辺の緑の量が減ったと感じる割合が高くなり、一部地域においてその傾向が顕著となった。

  →地域によっては身近な場所の緑の減少を心配する意識が上昇

- 大津市にふさわしい緑は「公園・緑地・広場」などの施設緑地の割合が高くなり、「琵琶湖周辺と周辺の山々」などの自然緑地とほぼ同率になった。

  →自然緑地への意識に加え、施設緑地に対する意識が上昇

- 公園以外の緑地の充実では「河川緑地や琵琶湖の保全と充実」が引き続き多い。

  →「水辺の保全と充実」に対する意識は依然として高い

調査結果の考察

公園・緑地について

- 大津市にふさわしい緑、大事にする緑として「公園・緑地・広場」の割合が増加した。

  →公園や緑地への関心が上昇

- 公園や緑地の利用目的は「散歩や休憩」が6割、「健康づくり」が2割となっている。

  →公園・緑地に対しては日常的な健康づくりの場としてのニーズが高い

- 公園利用者アンケートではトイレの老朽化や駐車場の狭さなど、公園施設を改善してほしいという意見が多く寄せられた一方、公園によっては「今のままでいい」という意見も多い

  →身近に利用する公園への愛着と、より使いやすい公園を求める声の高まり

- 公園の魅力が向上する施設としては「カフェ・レストラン」「キッチンカー」の意見が多い

  →公園の多様な利活用と、それに対応した公園施設の充実

調査結果の考察

緑のまちづくり活動について

- 自治会やPTA、子ども会などの地域活動による緑のまちづくりの割合は大きく減少した一方、緑のまちづくり活動に取り組みたいと答える割合は依然として高い。

→市や活動団体のイベントなど、個人的な参加を求める傾向

- 若年層の緑のまちづくり活動に取り組みたい割合は前回と比較し大きく上昇した。

→若年層の社会貢献への意識の高まり

- アンケート調査では「子どもへの環境学習や遊びを支援する活動」の割合が増加しており、自由意見では「子育て世代に優しい公園」という意見が多く挙げられている。

→地域の子育て環境の向上への関心の高まり

今後について

令和6年度の予定

- 市民意識調査の詳細な分析
- 現計画に定めた取組や数値目標の現状把握
- 関係法案、関係計画や国、近隣自治体の取組の整理
- 緑の基本計画審議会からの意見聴取

第4次大津市緑の基本計画（中間見直し）案を検討